学校だより
第３０号
令和８年度

いつも心にあいうえお

令和８年　11月２５日（水）
発行：那覇尚学院高等専修学校
文責：校長　初鹿野修

信頼伝え力を引き出す

沖縄タイムス　2026/9/29

「 米ニューヨークを拠点に活動する指揮者、伊藤玲阿奈さんの特別講演会の記事から一部抜粋 」

前部分略～　組織運営については「数字や分析、合理化、効率化を重視しすぎると、中長期的にはインスピレーションや新しいことへ挑戦する意欲が失われやすい」と指摘。直感や発想を生かしながら現実の仕事につなげていくアーティストのような思考や感性が必要だと説いた。総監督を務める長崎平和祈念国際音楽祭で指導する高校生との練習方法も紹介した。「最初からうまく弾けなくてもいい」「君たちを信頼している」と伝え、必要以上に口を出さず、自ら取り組む時間を設ける。一方で「一日のうちに一小節だけでもうまく弾けたらそれでいい」と、それぞれの技術に応じた成長を促していると語った。

リーダーに必要な環境づくり

「信頼されている。任されている、一緒につくりあげるという感覚が生まれると演奏する音が変わる」と解説した。「自分の意思で、ワクワクしながら行動するとき、人はその時点の実力で最高の仕事をする」と伊藤さん。罰や叱責、恐れを行動の動機にせせず、主体的に力を発揮できる環境をつくることがリーダーに求められると強調した。

この記事を読んだときに、私たちの仕事も同じだと感じました。「生徒を全面的に受け入れて、信頼し一緒に歩んでいく」これが、今私達那覇尚学院高等専修学校の使命だと改めて感じることができました。

今年もあと１か月余りとなりました。今年の振り返りを十分することで、また新しい年を迎えたいと思います。

文化体験実習

今年は、完成したばかり（一般公開はまだですが）の首里城と首里での織物体験の実習をしてきました.









生徒の感想
佑仁：文化を継いで行くのはとても大事だと思った。
　　沖縄の文化、歴史についてすごいと感じた。
大河：首里織の大変さ、すごさを感じた。
　　思ったより疲れた。

生徒会だより⑤

１１月となり沖縄も寒くなってきました。今月は、「文化」に触れることの多い月でした。特に印象に残っているのは空手交流会です。様々な空手の技をみれたのに加えて、外国人と話すことができました。

１２月になると、更に冷え込んでくると思うので、体調管理に気を付けたいです。

スクーリング頑張ってます

１０月３１日（土）保健・実技体育：山内先生
１１月　７日（土）国語：小橋川先生　英語：平安山先生
　　１８日（水）総合的な探究の時間：平安山先生
　　２１日（土）家庭：上原先生

歴史（照屋先生）・理科（松尾先生）は終了しています。
数学：11/26　佐喜眞先生で、本年度のスクーリングは終わりです。
どの教科も２人とも意欲的に取り組んでいます。
スクーリングは、高校免許保持者の授業です。
各教科の担当の先生も口をそろえて、２人の頑張りを褒めていただいています。



今の課題：タイムマネージメント

「遅刻０を目指して」

第１回期間　10.14△　15✖　16○**遠足**　達成せず
第２回期間　11. 4○　5△　6○**文化体験**　達成せず
※**行事の日**は出来ているんです。？？？？？？？？？